

(別紙様式2)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名： 兵庫県
農業委員会名： 養父市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業の概要

単位:ha

	田	畑	畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	1,170	325	325			1,495
経営耕地面積	626	115	68	15	4	741
遊休農地面積	20	11	11			31
農地台帳面積	1,447	736	736			2,183

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	2,397
自給的農家数	1,419
販売農家数	978
主業農家数	85
準主業農家数	117
副業的農家数	776

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	2,258
女性	957
40代以下	164

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	50
基本構想水準到達者	23
認定新規就農者	5
農業参入法人	12
集落営農経営	8
特定農業団体	
集落営農組織	8

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数								
認定農業者	—							
女性	—							
40代以下	—							

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 令和 4 年 1 0 月 3 1 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	13	13
認定農業者	—	3
認定農業者に準ずる者	—	1
女性	—	0
40代以下	—	1
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	12	12	12

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
		1,490ha	189.3ha
課 題	農業従事者の減少・高齢化等により耕作放棄地が増加しているうえに、中山間地域により1筆の農地面積が狭く、また分散しているため農地の確保・有効利用が難しい。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
249.0ha	189ha	0ha	75.90%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	人・農地プランの作成を推進すると共に、農地中間管理事業の取り組みを促し、担い手への農地の集積・集約を図る。
活動実績	人・農地プランの作成に併せ農地中間管理事業の取り組み内容を説明し、担い手への農地の集積・集約を促した。また、プランの広域化、集落営農組織の概要等に触れ、担い手不足の解消も促した。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	適正である。
活動に対する評価	適正である。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	元年度新規参入者数	2年度新規参入者数	3年度新規参入者数
	3経営体	3経営体	0経営体
	元年度新規参入者が取得した農地面積	2年度新規参入者が取得した農地面積	3年度新規参入者が取得した農地面積
	5.7ha	1.03ha	0ha
課題	継続的かつ計画的に営農していく意欲がある新規就農者の発掘と、各地域での人・農地プランの作成を推進し、担い手の受け入れ体制の整備が必要である。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和3年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②/①×100)
2経営体	0経営体	0%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④/③×100)
0.6ha	0ha	0%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	県等が主催する新規就農セミナーに積極的に参加し、広く情報提供を行うとともに、定期的に関係機関との会議を開き、新規就農者に関する情報交換を行う。
活動実績	8月、11月、12月に関係機関と会議を開き、情報交換を行った。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	適正である。
活動に対する評価	適正である。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月現在)	管内の農地面積(A) 1,490ha	遊休農地面積(B) 31.5ha	割合(B/A×100) 2.11%
課 題	所有者不在農地の増加や農家の高齢化、担い手不足及び有害鳥獣被害による耕作意欲の低下等において、耕作者が減少し、遊休農地の増加が進んでいる。		

- ※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入
- ※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
4.1ha	1.76ha	42.92%

- ※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入
- ※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
活動計画	農地の利用状況調査	25人	7月～9月	7月～11月
	農地の利用意向調査	調査実施時期:6月		
	その他の活動			
	調査方法	農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し担当地区の調査を行うとともに、旧町を単位とした4班を編成し地区の課題や現状の情報共有を図る。調査実施後は、農業委員会内で報告・検討会を開催、調査結果を整理し、利用意向調査を実施。その後、個別対応等により遊休農地の解消指導を行う。		
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数(実数) 25人	調査実施時期 7月～10月	調査結果取りまとめ時期 11月～2月
	農地の利用意向調査	調査実施時期 6月	調査結果取りまとめ時期 6月～7月	
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条
		調査数: 筆	調査数: 筆	調査数: 筆
		調査面積: ha	調査面積: ha	調査面積: ha
	その他の活動			

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	適正である。
活動に対する評価	適正である。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和3年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	1,490ha	0.0ha
課 題		

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度実績

実 績①	増減(B-①)
0.0ha	0.0ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	農地パトロールの強化、広報への掲載、農地所有者への指導をするとともに、農用地区域内の違反転用の発生防止に努める。
活動実績	委員会で研修を行い、各委員が地区内での広報をした。 農地パトロールでの確認及び各委員が担当区域内のパトロールに努めた。
活動に対する評価	適正である。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 36件、うち許可 36件及び不許可 0件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	事務局、地区担当委員による現地調査。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	事務局から申請内容の説明。			
	是正措置				
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	件		
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	件		
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	農業委員会事務局において議事録を閲覧に供している。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 30日	処理期間(平均)	5.3日
	是正措置				

2 農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付）

(1年間の処理件数: 17件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	申請人および申請代理人から聞き取り及び現地調査 (地区担当委員、現地調査委員3～4名、事務局)			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	事務局から議案ごとの申請内容と許可基準調査書の説明に続き、担当委員・現地調査委員の説明を経て、委員全員による審議に入り、挙手による表決を行っており、関係法令や審議基準に基づき行っている。			
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	農業委員会事務局において議事録を閲覧に供している。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 40日	処理期間(平均)	45日
	是正措置				

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況		
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数		11法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数		11法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数		0法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数		0法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人		0法人
	提出しなかった理由		
	対応方針		
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数		0法人
	対応状況		

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容	
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 77 件 公表時期 令和4年3月
	是正措置	
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 559 件 取りまとめ時期 令和4年3月 情報の提供方法:「農地の権利移転・賃借等調査」により国・県へ情報提供。農地情報公開システムに入力し一般提供。
	是正措置	
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 2,565 ha
		データ更新: 随時、固定資産税・住民基本台帳との突合は 7月に実施。 公表: 事務局窓口で閲覧。農地情報公開システムに入力し一般提供。
	是正措置	

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 〈対処内容〉
----------------	-----------------------

農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 〈対処内容〉
--------------------	-----------------------

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

VIII 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数

1 件

提出先及び提出した意見の概要	1 有機農業の推進 2 小動物も含めた鳥獣被害対策 3 中心経営体への農業機械・施設整備支援 4 担い手向けの総合窓口の設置 5 市特産物の販売促進対策 6 直接的農業者経営支援の継続
----------------	---

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している